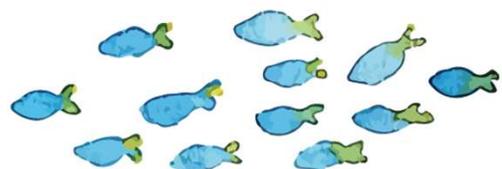




Sustainability Report 2025

アチハ株式会社 サステナビリティレポート 2025



Contents

ACHIHAの事業領域

企業理念

企業概要

トップメッセージ

価値創造プロセス

サステナブル経営の推進

環境

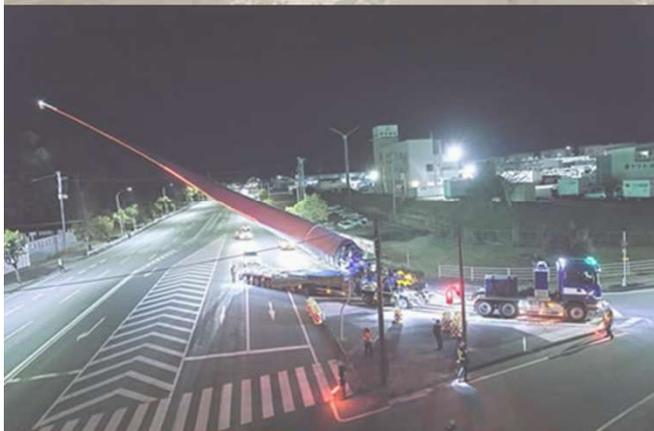
事業を通じた環境負荷軽減への貢献
マテリアルフロー
廃棄物の削減
地球温暖化対策
ISOの取得

社会

地方都市の誘致企業に認定
企業版ふるさと納税による地域振興の支援
大阪・関西万博における特殊輸送
地域の子どもたちと共に
Project Story
子ども向けイベントでクレーンの魅力を発信

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスに関する方針
労働安全衛生の取り組み
電気取扱業務特別教育の実施
専属の整備士による特殊車両の整備
ダイバーシティの推進
コンプライアンス研修



ACHIHA の事業領域

風力発電事業

風力発電事業において、設計・調達・建設・据付(EPCI)、運用・保守(O&M)、解体、リサイクルまで、一貫して行います。

特殊重量物輸送

風力発電の風車はもちろん、戦闘機や新幹線、大型産業機械など、長大物の輸送を得意としています。

重量物据付

風力発電設備、大型産業機械、テーマパーク設備など、幅広い長大物作業に対応しています。

国際商流事業

輸送手配や船舶手配、海上輸送、通関など国際物流を一元管理したサービスを提供しています。風力発電関連の各種製品の代理店業務も行っています。

企業理念

Philosophy

01

我々は全従業員の物心両面の幸せを追求し、素晴らしい人生が送れるように努めます。

02

日本一の絆で、デカいに挑戦します。

03

世の為、人の為、そして地球の為に貢献致します。

企業概要

Overview

従業員

194名

男性 155名
女性 39名

うち、外国籍社員 25名
(比率 13%)

(2025年12月31日時点)

育児休暇からの復帰率

100%

(対象者6名中6名)

※2025年度実績

男性従業員の育児休暇取得率

100%

(対象者5名中5名)

※2025年度実績

ISO取得状況

ISO9001(品質)

2023年9月取得

重量物(風力発電設備、電車、産業機械等)の輸送、据付、メンテナンス

風力発電設備の設計、施工及び解体

ISO14001(環境)

2023年9月取得

重量物(風力発電設備、電車、産業機械等)の輸送、据付、メンテナンス

風力発電設備の設計、施工及び解体

ISO 45001(安全衛生)

2025年7月取得

重量物(風力発電設備、電車、産業機械等)の輸送、据付、メンテナンス

風力発電設備の設計、施工及び解体



TOP MESSAGE

地球温暖化の影響による気象環境の変化を年々感じるようになりました。

この問題にアチハとしてどう取り組むことができるかを考えたとき、出会ったのが風力発電事業でした。

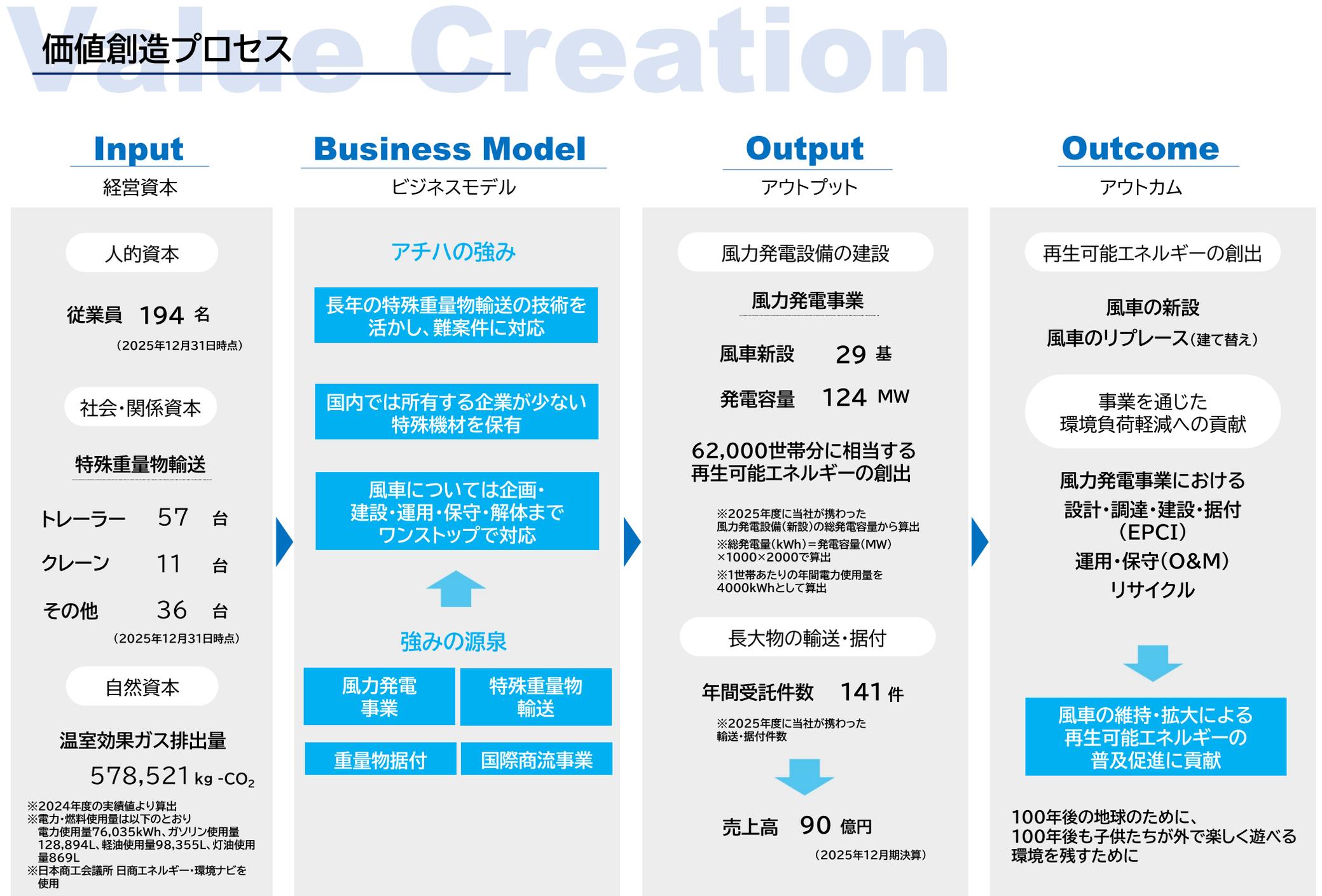
長年培ってきた特殊輸送技術を駆使し、再生可能エネルギーの拡大に寄与してまいります。

**100年後の地球のために、
100年後も子供たちが外で楽しく遊べる
環境を残すために**

アチハ株式会社 代表取締役

阿知波 孝明

価値創造プロセス



Input

経営資本

人的資本

従業員 194 名

(2025年12月31日時点)

社会・関係資本

特殊重量物輸送

トレーラー 57 台

クレーン 11 台

その他 36 台

(2025年12月31日時点)

自然資本

温室効果ガス排出量

578,521 kg -CO₂

※2024年度の実績値より算出
 ※電力・燃料使用量は以下のとおり
 電力使用量76,035kWh、ガソリン使用量
 128,894L、軽油使用量98,355L、灯油使用
 量869L
 ※日本商工会議所 日商エネルギー・環境ナビを
 使用

Business Model

ビジネスモデル

アチハの強み

長年の特殊重量物輸送の技術を
活かし、難案件に対応

国内では所有する企業が少ない
特殊機材を保有

風車については企画・
建設・運用・保守・解体まで
ワンストップで対応

強みの源泉

風力発電
事業

特殊重量物
輸送

重量物据付

国際商流事業

Output

アウトプット

風力発電設備の建設

風力発電事業

風車新設 29 基

発電容量 124 MW

62,000世帯分に相当する
再生可能エネルギーの創出

※2025年度に当社が携わった
風力発電設備(新設)の総発電容量から算出
 ※総発電量(kWh)=発電容量(MW)
 ×1000×2000で算出
 ※1世帯あたりの年間電力使用量を
 4000kWhとして算出

長大物の輸送・据付

年間受託件数 141 件

※2025年度に当社が携わった
輸送・据付件数

売上高 90 億円

(2025年12月決算)

Outcome

アウトカム

再生可能エネルギーの創出

風車の新設

風車のリプレース(建て替え)

事業を通じた
環境負荷軽減への貢献

風力発電事業における
設計・調達・建設・据付
(EPCI)

運用・保守(O&M)

リサイクル

風車の維持・拡大による
再生可能エネルギーの
普及促進に貢献

100年後の地球のために、
100年後も子供たちが外で楽しく遊べる
環境を残すために

サステナブル経営の推進

WE SUPPORT



アチハ株式会社は、2019年5月、国連グローバル・コンパクトに参加しました。国連グローバル・コンパクトが提唱する「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野・10原則を支持し、各分野の活動に取り組んでいます。

持続可能な社会づくりへの貢献

「脱炭素・省CO2」をキーワードに、アチハは日々の事業活動を通じてSDGsを推進します。

ESG	主な取り組み	関連するSDGsゴール
環境	2009年から現在まで、合計1000MWを超える風車を建設してまいりました。風車設備の調達、輸送、施工、保守、解体に至るまで、風車というインフラ設備を1日でも早く建設し、また、故障時の発電停止期間を可能な限り短縮。さらに1日でも長く運用するという、風車設備のトータルソリューションで、この国の再生可能エネルギーが1kWhでも多く発電されるよう支え続けています。	
社会	当社は地元地域を中心に、社会貢献を大切にしています。近隣で大きな事故が発生した際は、警察やコンテナ業者から救援要請があればすぐに駆けつけます。現場作業員だけでなく、時には事務所の社員も作業服に着替え、部署の垣根を越え救援にあたります。大きな震災があった際も、当社の機材や技術力を活かして復旧に貢献しております。また、地域の子供たちに喜んでもらおうと、「体験型イベント」や「南港のこいのぼり」なども継続的に行っています。	
ガバナンス	悲惨な労働災害を絶対に発生させないという強い思いのもと、作業現場の安全パトロール、安全点検、安全講習会、中央安全委員会の開催、ヒヤリハットの共有など、各種安全対策を積極的に実施し、安全意識の醸成、基本動作の徹底に取り組み、労働災害の未然防止に努めています。	

サステナブル経営の推進

環境

事業を通じた環境負荷軽減への貢献



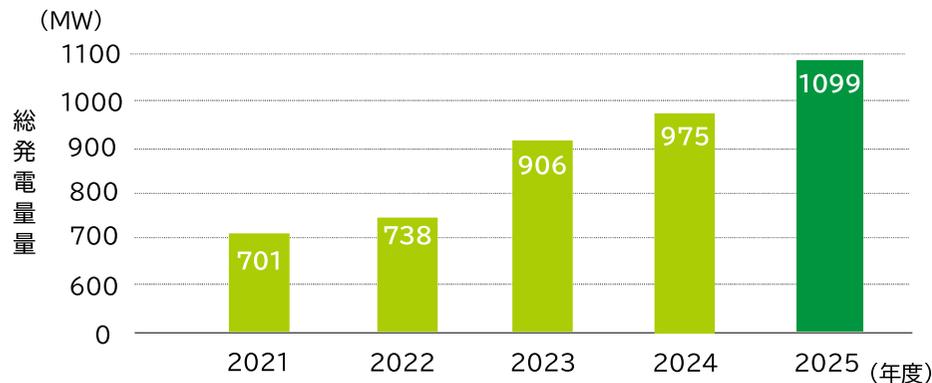
1000MWを超える風車を建設
再生可能エネルギーの普及拡大へ

2009年から現在まで、合計1000MWを超える風車を建設してきました。これは、1年間に約48万世帯※の家庭で使用する電力を発電できる規模に相当します。日本では陸上風車の設置に適した土地が少なく、また風車の大型化が進むなかで、風車の維持・拡大に課題があります。当社はEPCI事業者として、風車の一貫したオペレーションを実施し、これらの課題に立ち向かっています。

※ 設備利用率を20%、1世帯あたりの年間電力消費量を4,000kWhと仮定し算出



建設した風車の発電容量(累積)



マテリアルフロー

エネルギー・資源の利用状況 (2024年度)

Input

項目	数量
電気	76,035kWh
化石燃料	
ガソリン	128,894L
軽油	98,355L
灯油	869L

Output

項目	数量
大気への排出	578,521kg -CO ₂
自家消費	19,685kg -CO ₂

自社所有の太陽光発電により削減した二酸化炭素量

廃棄物の削減

解体した風車のリサイクルを促進



解体した風車の発電機

風車の解体工事において、ダイレクトドライブ式発電機の永久磁石として使用されているレアアースを適切な対策と作業手順により安全に解体し、脱磁処理を施した後、国内の需要家に再生資源として販売する循環型社会の仕組みを構築しました。他にもガラス繊維強化プラスチック(GFRP)製の風車ブレードを、国内のセメント工場でセメント再資源化処理を行っています。今後も役割を終えた風車の再資源化を推進し、廃棄物の削減に努めます。

サステナブル経営の推進

環境

地球温暖化対策

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を削減するため、自社で使用する電力に再生可能エネルギーを導入するなど、さまざまな省エネルギー対策に取り組んでいます。



社屋に設置した太陽光パネル(本社)

再生可能エネルギー
(自家消費)の導入

2023年3月より、本社の社屋屋上に太陽光パネルを設置し、発電した電力を敷地内で使用しています。

年度別 発電・自家消費量
2023年度:17727.64kWh
2024年度:19924.21kWh

先進技術を用いた工事管理で環境に優しい輸送を実現

3Dスキャナを用いた精度の高い経路設計と特殊機材の使用により、経路確保のために必要な森林の伐採範囲の縮小をはじめ、周辺環境への影響を最小限に抑えた輸送を実現しています。



3Dスキャナを搭載した計測車輛

環境に配慮したエコドライブの実践



業務用車輛に搭載した装置

「ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ推進運動」と題し、当社の業務用車輛(サービスカー)にドライブの状況(加減速、速度等)を記録する装置を設置し、エコドライブおよび安全運転の推進を行っています。

ISOの取得

お客様に提供するサービス品質の継続的な向上と、サステナビリティの考えのもと、環境リスクの低減と環境への貢献、社員が安心して働ける労働安全衛生の環境づくりをめざす、マネジメントシステム認証を取得しています。お客様からの信頼と、地球環境に優しい経営を継続してまいります。

ISO 9001:2015 品質マネジメントシステム

ISO9001:2015に基づく品質マネジメントシステムを通じて、品質の維持・向上と継続的な改善に取り組んでいます。品質は、お客様に安心と信頼をお届けするための基盤であると同時に、持続可能な事業活動を支える重要な要素でもあります。業務手順の見直しや情報共有の徹底、現場力の向上を通じて、安定した品質の確保と社会的責任の遂行に努めています。



GIJP-1109-QC

ISO/IEC 9001:2015

ISO 14001:2015 環境マネジメントシステム

ISO 14001:2015に基づく環境マネジメントシステムを通じて、事業活動に伴う環境負荷の低減と継続的な改善に取り組んでいます。環境への配慮は、企業としての社会的責任であると同時に、持続可能な社会の実現に向けた重要な使命であると考えています。省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の適正管理、環境意識の向上を通じて、日々の業務の中で着実な取り組みを重ねています。



GIJP-1109-EC

ISO/IEC 14001:2015

ISO 45001:2018

労働安全衛生マネジメントシステム

ISO 45001:2018に基づく労働安全衛生マネジメントシステムを通じて、すべての社員が安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。安全と健康の確保は、事業活動を支える最も重要な基盤であり、持続可能な企業経営に欠かせない責任であると考えています。現場に潜むリスクの把握と低減、労働災害の防止、安全意識の向上に努めるとともに、一人ひとりが主体的に安全活動に関わる風土づくりを進めています。



GIJP-1109-OHC

ISO/IEC 45001:2018

サステナブル経営の推進

社会

地方都市の誘致企業に認定

2015年頃から秋田県内の風力発電設備の建設工事やメンテナンスに携わってきました。近年は能代市内に現地事務所を構えていましたが、風力発電施設で働く従業員が国際基準を満たした安全に関する訓練を受けられる施設(GWO研修施設)を併設した新拠点を、秋田市に新設する予定です。また、2026年度に新規導入予定の、風力発電設備のメンテナンス用特殊クレーン「LIFTRA社 LT-1200(※)」の拠点となります。それに伴い、2025年5月20日、当社は秋田県及び秋田市と「立地協定締結式」を催し、秋田県と秋田市の誘致企業に認定されました。



秋田県の鈴木知事(右)、秋田市の沼谷市長(左)と共に中央が代表取締役社長の阿知波

企業版ふるさと納税による地域振興の支援

2025年度(令和7年度)は、企業版ふるさと納税として自治体に寄付を行いました。

北海道えりも町

北海道えりも町では「まちに新たな人の流れをつくる事業」として、自然・文化・歴史・産業を活かした観光の振興や、お試し移住体験、ワーケーションの取り組み等に使われています。

石川県中能登町

石川県中能登町では「安定した雇用を創出する事業」として、繊維産業や農業を活性化し、基盤産業の振興と就業者の拡大を促進する取り組み、新しい仕事や働き方、ICT 技術を取り入れ創業を後押しし、地域経済の発展と多様化をめざす取り組みに使われています。

大阪・関西万博における特殊輸送



大阪・関西万博会場にお神輿を搬入

2025年5月8日～10日、大阪・関西万博会場のEXPOアリーナで開催された「大阪の祭！～EXPO2025 春の陣～」に、住吉大社様(大阪市住吉区)のお神輿が登場しました。当社は安全祈願祭をはじめ、住吉大社様との関係が深いことから、お神輿の搬送をお引き受けしました。5月8日午前9時に会場へ搬入、10日の深夜に搬出し、無事、住吉大社様にお返しすることができました。



メンテナンス用特殊クレーン LIFTRA社 LT-1200

当社は風力発電設備のタービンをメンテナンスする際の使用機材として、従来の大型クレーンに加え、機上に取り付けて作業が可能となる特殊クレーンを国内で初めて導入します。LT-1200は、デンマークのLIFTRA社で製造され、風力発電設備のギアボックス、ブレード、メインシャフトなど幅広い主要部品の交換が可能です(最大容量:78t)。

LT-1200の導入により、通常より短い期間で主要部品の交換が可能となります。また、風速18m/秒まで稼働でき、大型クレーンの手動が不要であることから、二酸化炭素の排出量を大幅に削減できます。当社は風力発電設備のO&M事業者として、今後もLIFTRA社との協調関係を発展継続し、風力発電設備のメンテナンス業務の最適化を図り、持続可能な社会づくりに貢献します。

サステナブル経営の推進

社会

地域の子どもたちと共に

1981年から44年にわたり、大阪ベイエリアにおける5月の風物詩として地域の方々に親しまれている「南港のこいのぼり」。2025年4月13日から開催された「大阪・関西万博」の気運を高めようと、大阪市立咲洲みなみ小学校の児童の皆さんと、真っ白な生地の状態の鯉のぼりをペインティングし、当社所有の大型クレーンで空に揚げる「南港のこいのぼりプロジェクト」を実施しました。



空を泳ぐ、ジンバイザメを模して子供たちと作成した「みなみザメ」
(2025年4月26日 本社構内から撮影)

子ども向けイベントでクレーンの魅力を発信

2025年11月23日、高津宮(大阪市中心部)で開催された「第9回あきんど祭り」に協賛し、実際のクレーンを用いた千本引きのプログラムを提供しました。参加者からは「大きな重機を操作して感動した」「細かな動きができて面白かった」、保護者からは「貴重な経験ができてよかった」などの声が聞かれました。子どもたちがクレーンの魅力に触れ、理解が深まることを願います。



クレーンを用いた千本引き

Project Story

子どもの健やかな成長を願い、自宅の庭などで揚げられてきた「こいのぼり」は、昨今の住宅事情などを背景に、目にする機会が減ってきました。集合住宅が建ち並ぶ大阪ベイエリアに本社を構える当社にとって、地域の方々にこいのぼりの勇壮な姿をご覧いただきたいとはじまったのが「南港のこいのぼり」です。

地域の方々に親しまれてきた南港のこいのぼりですが、全長10mを超えるサイズの既製品の販売が終了となり、存続が難しくなってきました。5月の風物詩として、これからも地域の方々と共にこの光景を維持していきたいという思いから、地域の子どもたちと共にこいのぼりをペインティングする企画を立ち上げました。

当社が属する学校区である、大阪市立咲洲みなみ小学校の協力を得て、子供たちが考えペインティングした、ジンバイザメを模した「みなみザメ」が、大阪の空を泳ぎ、大阪・関西万博の開催を祝福しました。



「みなみザメ」を前に、
当社社員から説明を聞く児童の皆さん

今回、当社からほど近くにある水族館のシンボルとして、子供たちの人気が高いジンバイザメをモチーフにしたイラストを採用しました。

2025年3月4日、小学2年生の児童の皆さん(68名)に、ジンバイザメのドット柄に好きな色を塗り、将来の夢を順に書いていただき、子どもたちの夢が詰まった「みなみザメ」が完成。

それぞれ、自分が書いた夢を皆の前で発表しあい、活気あふれる楽しい時間になりました。



ドット柄にペインティングし
夢を書き込む児童の皆さん

ペインティング当日は、当社から5名の社員が参加し、子どもたちの作業を手伝いました。

当社の近隣にお住まいの皆さんには、日頃から当社の事業にご理解をいただいています。このような、地域の子どもたちとの共同作業を通じ、これからも社会貢献活動を継続していきたいと考えています。

サステナブル経営の推進

コーポレートガバナンス

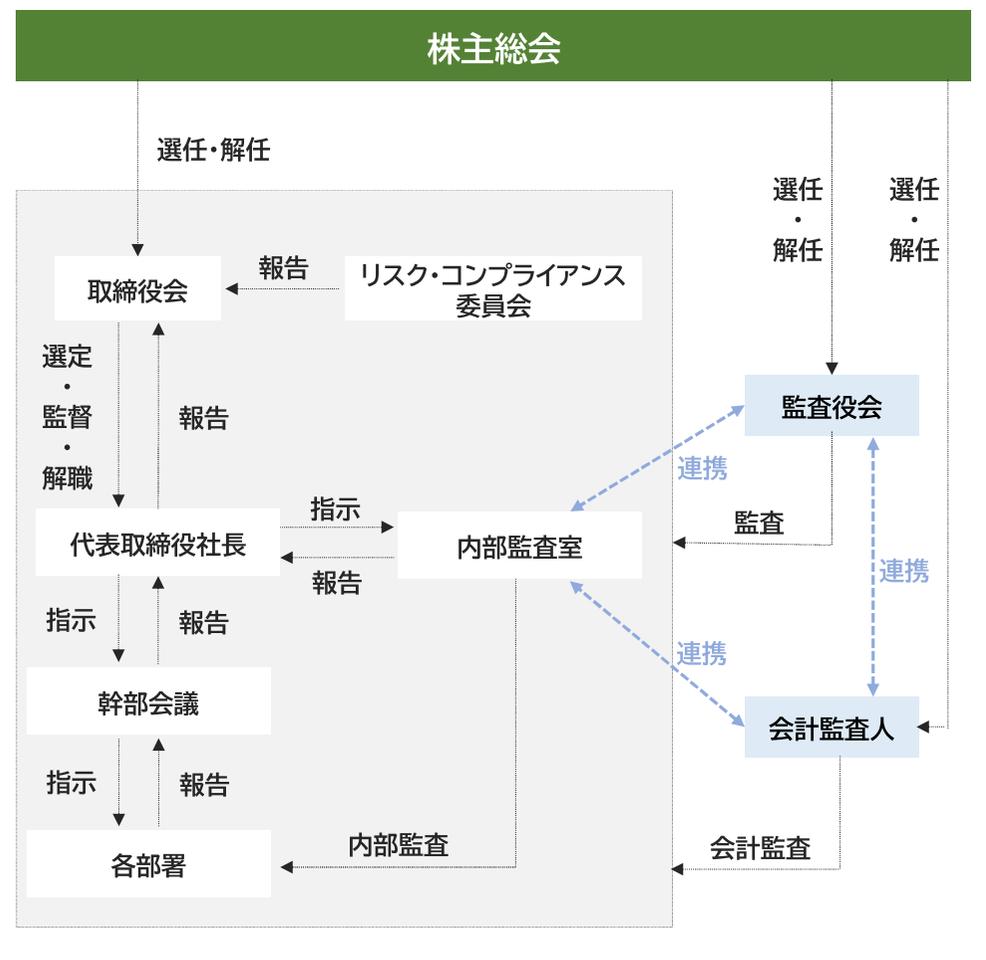
コーポレートガバナンスに関する方針

株主・顧客・従業員など全てのステークホルダーを重視した経営を行うことで、皆さんに支持されながら社会に貢献していくことを、コーポレートガバナンスの基本方針としています。効率的かつ公正で透明性の高い経営および経営監視機能を強化しています。

労働安全衛生の取り組み

社長直下に安全衛生推進室を配置し、現業・非現業部門を問わず、労働安全衛生の管理徹底に努めています。

体制図



労働災害ゼロをめざして

悲惨な労働災害を絶対に発生させないという強い思いのもと、作業現場の安全パトロール、安全点検、安全講習会、中央安全委員会の開催、ヒヤリハットの共有など、各種安全対策を積極的に実施し、安全意識の醸成、基本動作の徹底に取り組み、労働災害の未然防止に努めています。



安全大会当日の朝礼(本社構内にて)

2025年度の取り組み

- ・安全大会 1回
- ・従業員安全研修 3回
- ・労働安全委員会 12回
- ・安全パトロール 延べ30回
- ・安全投げかけ(メール配信) 延べ53回
- ・協力会社向け安全動画配信 等

非事業用車両を含めた安全運転の励行

事業用車両(トレーラ・クレーンなど)は運行管理者による管理を行っていますが、非事業用車両(従業員の移動に使用する車両)に加速度計測が可能な装置(ビークルアシスト)を搭載し、安全衛生推進室の担当者が、従業員の運転状況を確認しています。運転に課題がある従業員には、安全運転研修を受講させ、スキルの向上を図っています。また、雇い入れ時には、自動車を運転する全ての従業員に安全研修を実施しています。



運転状況を確認し従業員への指導を実施

サステナブル経営の推進

コーポレートガバナンス

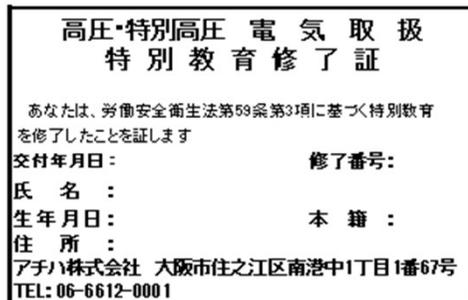
電気取扱業務特別教育の実施

電気の取り扱い時における労働災害を未然に防ぐため、労働安全衛生法に準じた電気取扱業務特別教育を実施しています。

日本語を母国語としない従業員には、英語版の教育コンテンツを準備し、全ての従業員への安全教育を徹底しています。



英語による特別教育



修了証

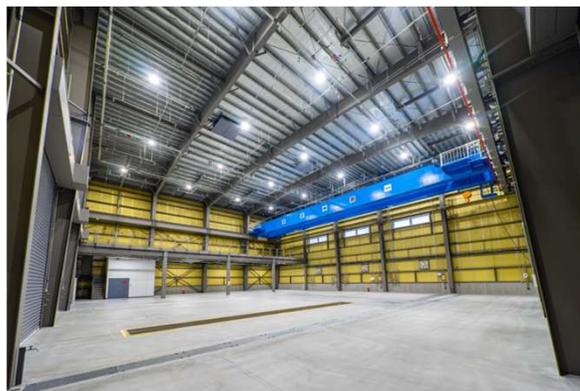
専属の整備士による特殊車両の整備

本社構内に車両整備を専門に行う整備場を設け、作業現場における車両トラブルを未然に防ぐため、念入りな車両整備を定期的を実施しています。

整備場内には大型の据付型クレーンやピットを設け、専属の整備士(2名)が常駐しています。



整備中のトレーラ



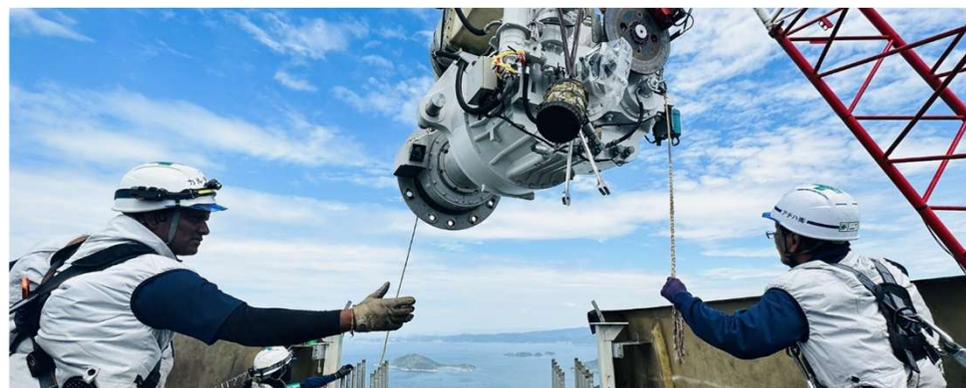
整備場(本社構内)

ダイバーシティの推進

個人のスキルと挑戦意欲を評価し、若手社員に責任のある仕事を任せるなど、チャレンジングな組織風土の醸成に努めています。また、国籍に関わらず多様な人材の採用を推進しています。

2025年12月時点の女性管理職比率は約1%。社員に占める外国人社員の割合は約13% (合計25名)となっています。

なお、産休取得者数6名(対象者6名、取得率100%)、パパ育休取得者数5名(対象者5名、取得率100%)で、積極的な取得を呼び掛けています。



コンプライアンス研修

新入社員には入社時研修で行動規範などのコンプライアンス研修を実施しています。全社員には年間計画を立て研修を実施しています。

2025年度に実施した主な研修

研修名	反社会勢力排除に関する研修	ハラスメント研修	建設業法・下請法の改正に関する研修	インサイダー研修
研修内容	反社会的勢力の特徴、取引時の確認方法、接触時の対応を学ぶ	各種ハラスメントの基礎知識と防止策、相談対応を学ぶ	建設業法と下請法の改正要点を学び、法令順守の意識を高める	未公表情報の管理と株式売買規制、違反リスクを学ぶ



Sustainability Report 2025

アチハ株式会社

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目1番67号
<https://www.achiha.co.jp/>